

## 意見書案第9号

新型コロナに対する国民健康保険の傷病手当金の

支給拡充を国の制度として求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を  
求める。

令和3年9月24日提出

提出者 中間市議会議員 田口澄雄

賛成者 中間市議会議員 柴田芳信

新型コロナに対する国民健康保険の傷病手当金の  
支給拡充を国の制度として求める意見書

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、国民健康保険からの傷病手当金の支給については、現在感染した被用者のみの支給となっています。

しかし、国民健康保険加入の個人事業主や家族専従者やフリーランスの被保険者は、支給対象となっておりません。

このことについては、その不公平を指摘する声もあり、国会では、市町村長の判断で専決処分することは可能であるとの答弁もあつて、全国的には、今年6月末の時点で、15の自治体が、独自に事業主への支給を実施しています。

しかし、独自に実施した自治体に対する国の財政支援はなされず、自治体独自の予算対応がなされているのが実態です。

国民健康保険以外の被用者保険では、こうした傷病手当金の支給は当たり前の制度であり、国民健康保険のみが特定の条件下での支給というのは、不公平ではないでしょうか。

こうしたことから、国民健康保険の傷病手当金の支給について、国の財政支援のもとに、個人事業主や家族専従者、フリーランスの被保険者も対象とするよう制度改正を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和3年9月24日

中間市議会

衆議院議長	大島	理森	様
参議院議長	山東	昭子	様
内閣総理大臣	菅	義偉	様
厚生労働大臣	田村	憲久	様
財務大臣	麻生	太郎	様